

宮崎県経済の動き

(平成17年4～6月期)

目 次

1	総	論	-----	1	
2	各	論	-----	3	
3	資	料	編	-----	8

平成17年9月

宮崎県総合政策本部統計調査課

1 総論

本県の経済は、生産は一部に力強さを欠いているものの、堅調な動きもみられ、生産活動全体としては微増となった。消費や雇用は一部持ち直しの動きがみられるものの、投資や企業関連は依然厳しい状況にある。景気は、持ち直しの動きに引き続き足踏み感がみられる。

各分野の動きを見ると、生産活動は、「電子部品・デバイス工業」が力強さを欠いているものの、「食料品・たばこ工業」などに堅調な動きもあり、全体としては微増となった。大口電力使用量は、前年同期を下回った。

消費関連は、大型小売店販売額が前年同期を下回ったものの、新車登録・届出台数及び航空便利用客数が前年同期を上回るなど、一部に持ち直しの動きがみられる。

雇用情勢は、依然厳しい状況にあるが、有効求人倍率や新規求人数が前年同期をやや上回るなど、一部に持ち直しの動きが続いている。

投資関連は、新設住宅着工戸数や公共工事請負金額が前年同期を下回るなど、低調に推移した。

企業関連も、企業倒産件数、負債額が前年同期を大きく上回り、依然厳しい状況にある。

○主な経済指標

下段：「単位」の欄に注釈のある項目を除き、前年同期比(%)

分野	指標	単位	H16 Ⅱ	H16 Ⅲ	H16 Ⅳ	H17 Ⅰ	H17 Ⅱ
生産	鉱工業生産指数 (季節調整済指数) ※前期比	(H12=100)	104.7	108.0	102.3	99.0	99.9
			1.6	3.2	△ 5.2	△ 3.3	0.9
	鉱工業在庫指数 (季節調整済指数) ※前期比	(H12=100)	93.7	93.2	93.2	97.2	100.5
			0.1	△ 0.5	0.1	4.3	3.4
	大口電力使用量	千kwh	493,823	459,534	457,975	438,308	474,129
			18.9	8.4	1.3	1.2	△ 4.0
消費	大型小売店 販売額	百万円	21,606	21,954	25,534	22,406	22,213
			△ 8.2	△ 5.3	△ 3.1	△ 2.9	△ 1.9
	新車登録台数	台	6,053	7,196	6,933	8,766	6,800
			△ 9.8	△ 7.6	1.6	0.9	12.3
	新車届出台数	台	6,241	6,401	6,099	7,941	6,406
			3.1	1.3	1.0	△ 1.3	2.6
	航空便 利用客数(乗)	人	357,792	392,474	384,371	404,699	362,927
			0.3	△ 7.7	△ 2.1	△ 2.1	1.4
航空便 利用客数(降)	人	352,575	391,823	405,069	381,240	359,531	
		1.0	△ 7.6	△ 2.3	△ 1.0	2.0	
主要ホテル・ 旅館宿泊客数	人	258,692	298,544	311,224	305,479	255,289	
		13.6	△ 1.4	13.6	3.4	△ 1.3	
消費者物価指数 (総合指数)	(H12=100)		97.8	98.2	98.5	97.6	97.6
			△ 0.4	△ 0.4	0.6	0.0	△ 0.2
雇用・労働	有効求人倍率 (季節調整値)	倍	0.59	0.63	0.63	0.62	0.63
		※前期差ポイント	0.04	0.04	0.00	△ 0.01	0.01
	新規求人数	人	16,595	18,944	18,312	20,001	16,721
			10.6	11.6	9.6	13.7	0.8
投資	新設住宅着工 戸数	件	1,938	2,350	2,110	1,478	1,929
			△ 3.8	24.3	△ 4.2	△ 9.6	△ 0.5
	公共工事請負 金額	百万円	37,750	65,843	55,559	57,792	30,170
			12.1	△ 3.1	△ 13.6	41.3	△ 20.1
企業・金融	企業倒産件数	件	20	25	23	16	27
			△ 35.5	△ 3.8	△ 20.7	△ 48.4	35.0
	企業倒産負債額	百万円	3,113	6,747	2,622	10,316	6,661
			△ 76.3	△ 71.5	△ 51.1	188.4	114.0

注 大型小売店販売額の前年同期比は、既存店どうしの比較の数字である。

○前回（平成17年1～3月期）からの変更点

	前 回	今 回
期 間	平成17年1～3月期	平成17年4～6月期
総 論	本県の経済は、生産は一部に増加の動きがみられたが、生産活動全体としては <u>緩やかな減少</u> となった。消費は依然低調のまま推移しているが、 <u>雇用や投資に一部持ち直しの動きがみられる</u> 。景気は、 <u>持ち直しの動きに引き続き足踏み感</u> がみられる。	本県の経済は、生産は <u>力強さを欠いているものの、一部に堅調な動きもあり</u> 、 <u>生産活動全体としては微増</u> となった。消費や <u>雇用</u> に一部持ち直しの動きがみられるものの、 <u>投資や企業関連は依然厳しい状況にある</u> 。景気は、 <u>持ち直しの動きに引き続き足踏み感</u> がみられる。
生産関連	生産活動は、一部に <u>増加の動きがみられたが</u> 、 <u>全体としては緩やかな減少</u> となった。	生産活動は、一部に <u>力強さを欠いているものの、堅調な動きもみられ</u> 、 <u>全体としては微増</u> となった。
消費関連	消費関連は、 <u>持ち直しの動きがみられるものの、依然低調に推移している。</u>	消費関連は、一部に <u>持ち直しの動きがみられる</u> 。
雇用・労働関連	雇用情勢は、依然厳しい状況にあるが、一部に <u>持ち直しの動きがみられる。</u>	雇用情勢は、依然厳しい状況にあるが、一部に <u>持ち直しの動きが続いている。</u>
投資関連	投資関連は、 <u>一部持ち直した。</u>	投資関連は、 <u>低調に推移した。</u>
企業・金融関連	企業・金融関連は、依然厳しい状況にある。	企業・金融関連は、依然厳しい状況にある。

2 各論

(1) 生産関連

鉱工業生産指数（3-1表）は、前期とほぼ横ばいであった。

業種別に生産指数（2-1表）の推移を見ると、ウェイトの高い「電子部品・デバイス工業」、「食料品・たばこ工業」はともに前期を下回ったが、「窯業・土石製品工業」が前期を大きく上回った。

鉱工業出荷指数、鉱工業在庫指数（3-1表）は、ともに前期を上回った。

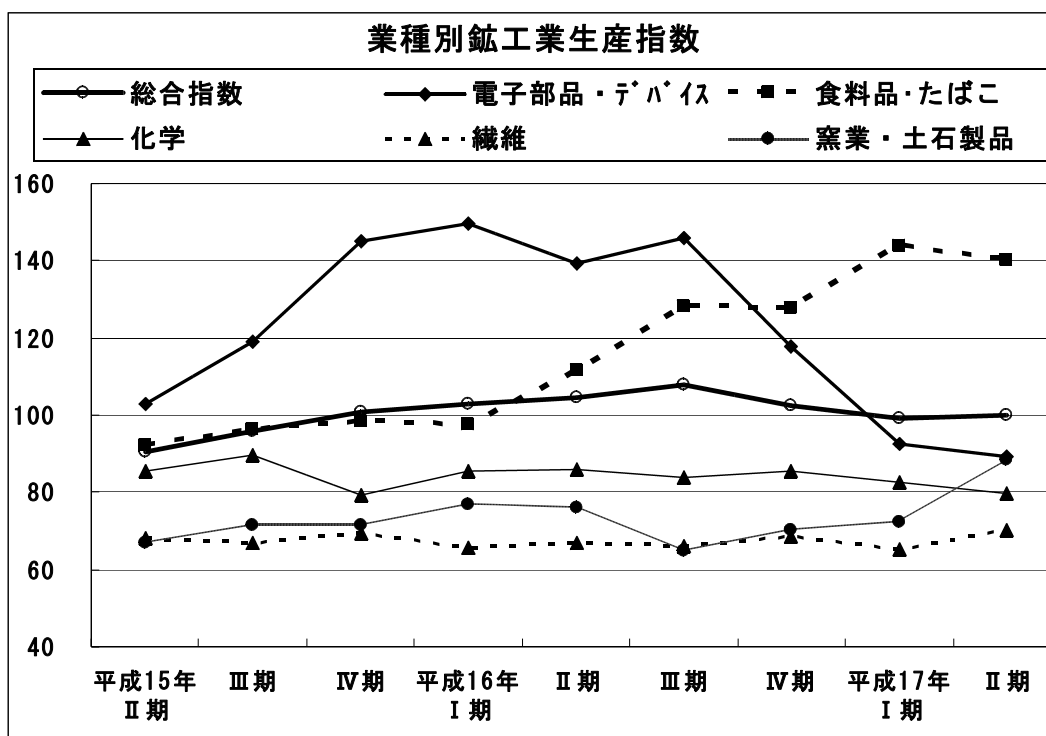
在庫循環の推移を示す在庫循環図（2-2表）で見ると、「在庫調整局面」となった。

大口電力使用量（3-2表）は、前年同期を下回った。

生産活動は、一部に力強さを欠いているものの、堅調な動きもみられ、全体としては微増となった。

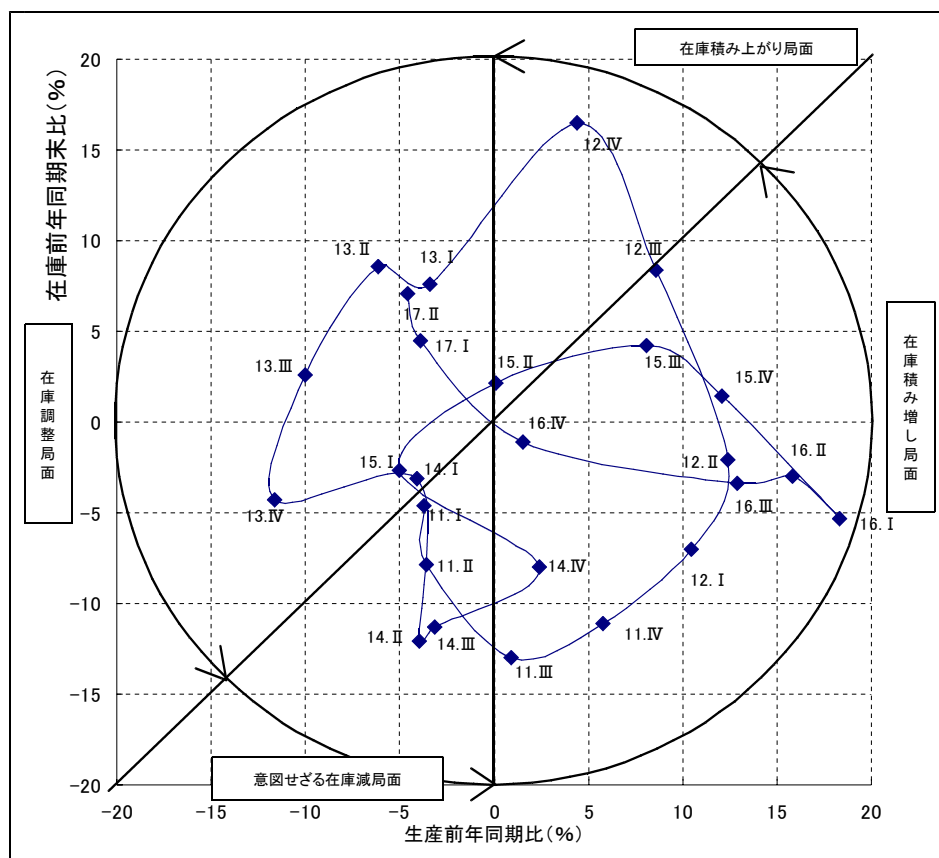
○主な業種別鉱工業生産指数（平成12年=100）

（2-1表）



○在庫循環図

(2-2表)



※1 生産前年同期比、在庫前年同期末比は原指数で算出。

※2 在庫前年同期末比は、昨年と今年の各3, 6, 9, 12月を比較。

○在庫循環図

在庫循環図は、生産指数の伸び率と在庫指数の伸び率を利用して、在庫循環の4段階を示した図である。

○在庫循環図が示す4段階

I 意図せざる在庫減局面【景気回復初期局面】

生産、在庫ともに縮小で、かつ生産より在庫の方がより縮小している状態である。

II 在庫積み増し局面【景気回復局面】

生産を増加させて在庫を積み増していき、在庫の伸びは生産の伸びを上回ることがない状態である。

III 在庫積み上がり局面【景気減速局面】

生産はなおも増加基調であり、その生産の増加率を上回って在庫が増加していく状態である。

IV 在庫調整局面【景気低迷局面】

生産は減少に転じ、在庫水準を下げっていく状態である。

(2) 消費関連

大型小売店販売額（3－3表）は、既存店どうしの比較で前年同期を下回った。

新車登録台数（3－4表）は、前年同期を大きく上回った。また、新車届出台数（3－4表）も前年同期を上回った。

航空便利用客数（3－5表）は、乗降客数ともに4期ぶりに前年同期を上回った。

主要ホテル・旅館宿泊客数（3－6表）は、前年同期を下回った。

消費者物価指数（3－7表）は、総合指数、生鮮食品を除く総合指数ともに前年同期を下回った。

消費関連は、一部に持ち直しの動きがみられる。

(3) 雇用・労働関連

有効求人倍率（3－8表）は、前期とほぼ横ばいであった。また、全国の完全失業率（3－8表）は、前期を下回った。

新規求職申込件数（3－9表）は、5期ぶりに前年同期を上回った。また、新規求人数（3－9表）も前年同期を上回った。

総実労働時間指数、所定外労働時間指数（3－10表）は、前年同期を上回ったが、実質賃金指数（きまって支給する給与）、常用雇用指数（3－10表）は、前年同期を下回った。

雇用情勢は、依然厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きが続いている。

(4) 投資関連

新設住宅着工戸数（3－11表）は、前年同期をやや下回った。

公共工事請負件数（3－12表）は、前年同期を下回った。また、公共工事請負金額（3－12表）も前年同期を大きく下回った。

投資関連は、低調に推移した。

(5) 企業・金融関連

企業倒産件数（3－13表）は前年同期を上回り、また負債額（3－13表）も前年同期を大きく上回った。

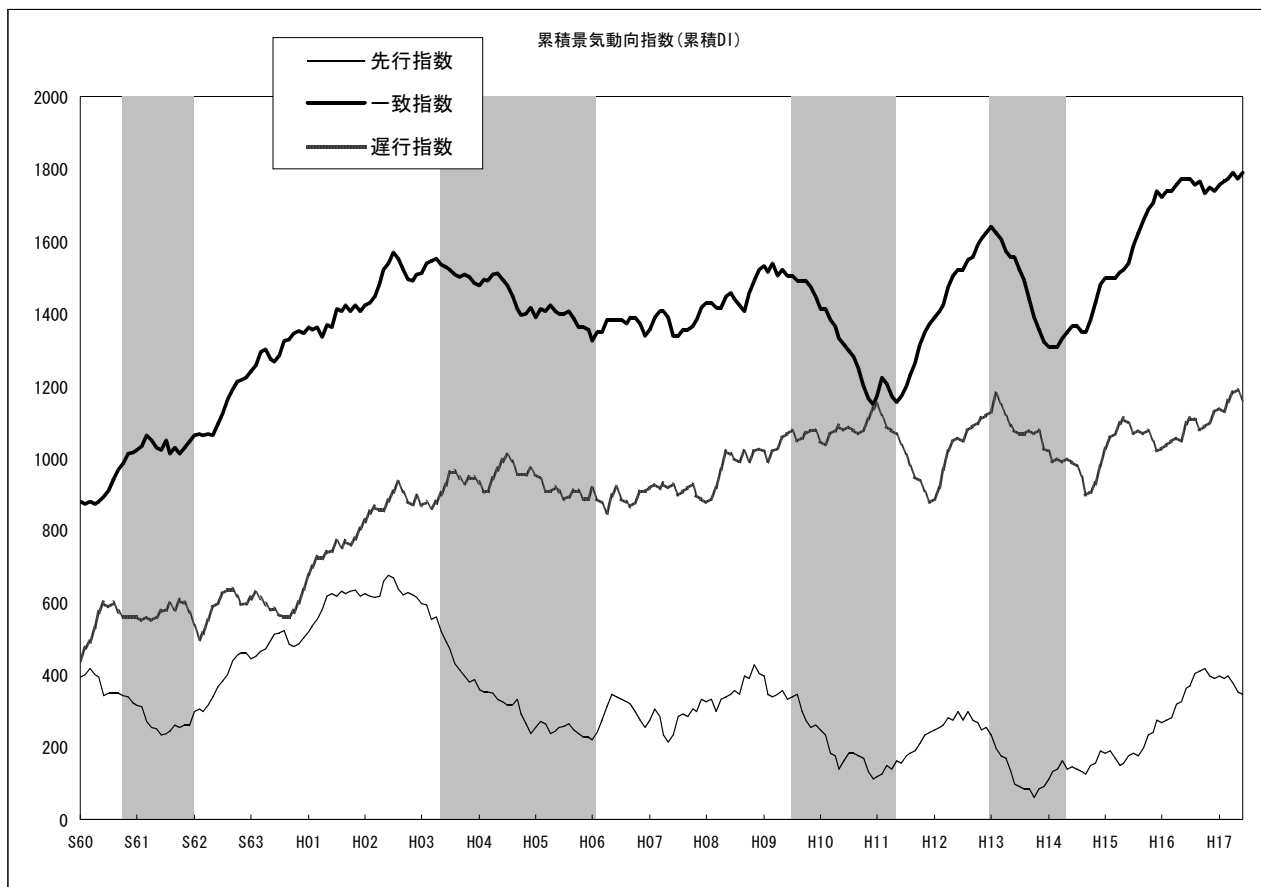
金融機関預金残高（3－14表）は前年同期をやや上回った。また、金融機関貸出金残高（3－15表）は前年同期とほぼ横ばいであった。

企業・金融関連は、依然厳しい状況にある。

○景気動向指数

累積景気動向指数（2-3表）は、一致指数が緩やかな上昇傾向となっている。

（2-3表）



○景気動向指数

- 1 複数の経済指標の変化（伸び率は関係ない）を合成し、数値化したものである。
- 2 景気動向指数は、景気の方角性を示すものであり、その数値の大きさは、景気変動の大きさを示すものではない。
- 3 景気動向指数には、景気に先行して動く「先行指数」、ほぼ一致して動く「一致指数」、遅れて動く「遅行指数」の3種類がある。

○累積景気動向指数（累積DI）

- 1 景気動向指数（DI）の月々の値を累積したものが、累積景気動向指数（累積DI）である。
◆ 今月の累積DI = 前月の累積DI + (今月のDI - 50)
- 2 累積DIには、景気の動きと連動する性質があるため、景気の動きを視覚的にとらえやすいという利点がある。

なお、本県の景気後退期は、

昭和60年10月～昭和61年12月、平成3年5月～平成6年1月、平成9年7月～平成11年4月

平成13年1月～平成14年4月

である。

< 資 料 編 >

3 経済指標の動き

生産関連

(1) 鉱工業指数(平成12年=100:季節調整済指数)

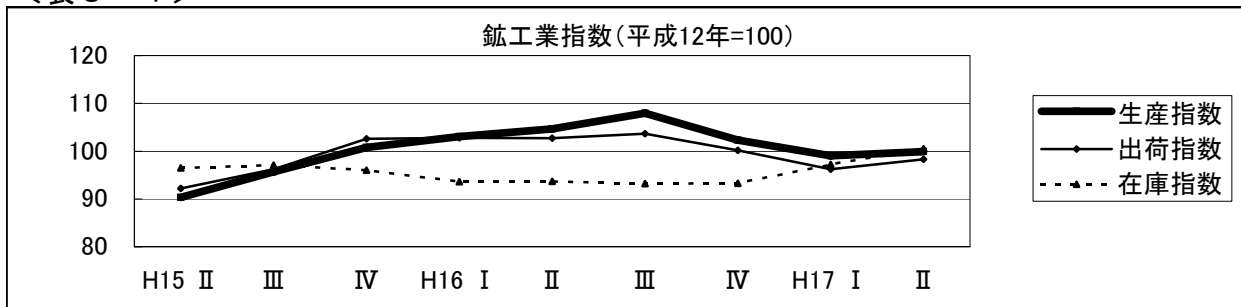
- 生産指数は、前期とほぼ横ばいであった。
- 出荷指数は、3期ぶりに前期を上回った。
- 在庫指数は、3期連続で前期を上回った。

平成12年=100 単位：%

	生産指数		出荷指数		在庫指数	
		前期比		前期比		前期比
H15 II	90.3	3.7	92.2	3.1	96.5	0.4
III	95.7	6.0	96.2	4.3	97.1	0.6
IV	100.8	5.3	102.6	6.7	96.0	▲ 1.1
H16 I	103.1	2.2	102.8	0.2	93.6	▲ 2.5
II	104.7	1.6	102.7	▲ 0.1	93.7	0.1
III	108.0	3.2	103.7	0.9	93.2	▲ 0.5
IV	102.3	▲ 5.2	100.2	▲ 3.3	93.2	0.1
H17 I	99.0	▲ 3.3	96.2	▲ 4.0	97.2	4.3
II	99.9	0.9	98.3	2.1	100.5	3.4

(資料：県統計調査課)

<表3-1>



(2) 大口電力使用量

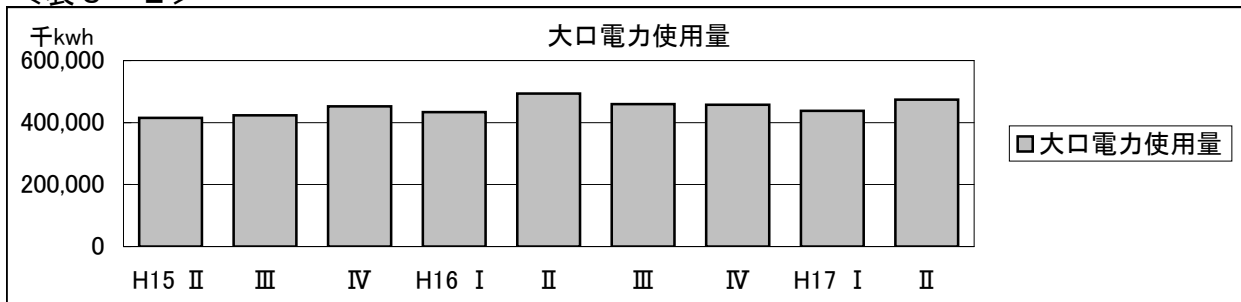
- 大口電力使用量は、前年同期を下回った。

単位：千kwh、%

	大口電力使用量	
		前年同期比
H15 II	415,223	▲ 4.4
III	423,829	3.8
IV	451,896	5.3
H16 I	433,228	8.4
II	493,823	18.9
III	459,534	8.4
IV	457,975	1.3
H17 I	438,308	1.2
II	474,129	▲ 4.0

(資料：九州電力(株)宮崎支店)

<表3-2>



消費関連

(3) 大型小売店販売額（百貨店、スーパー 計29店舗）

○大型小売店販売額は、既存店どうしの比較で前年同期を下回った。

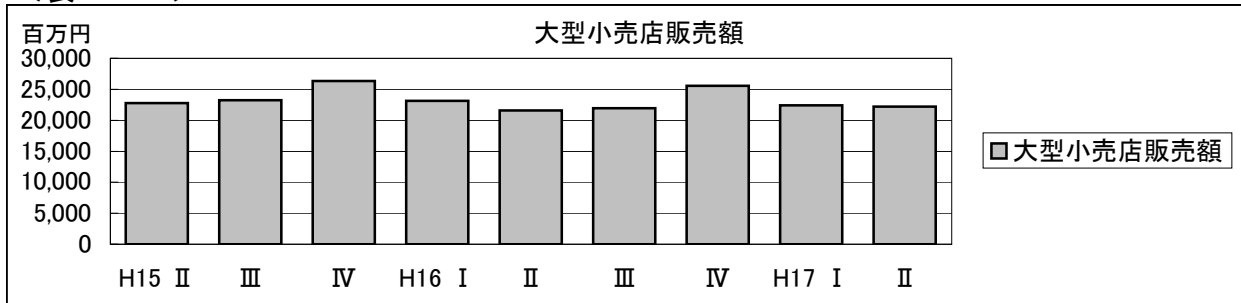
単位：百万円、%

	衣料品	飲食料品	その他	計	前年同期比
H15 II	8,991	6,543	7,252	22,786	▲ 10.4
III	8,105	8,049	7,095	23,249	▲ 8.4
IV	10,046	8,592	7,706	26,344	▲ 7.8
H16 I	9,352	7,038	6,732	23,122	▲ 6.4
II	8,714	6,429	6,463	21,606	▲ 8.2
III	7,848	7,426	6,680	21,954	▲ 5.3
IV	9,633	8,054	7,847	25,534	▲ 3.1
H17 I	9,104	6,386	6,916	22,406	▲ 2.9
II	8,648	6,274	7,290	22,213	▲ 1.9

※ 前年同期比は、既存店どうしの比較である。

（資料：経済産業省）

<表3-3>



(4) 新車登録・届出台数

単位：台、%

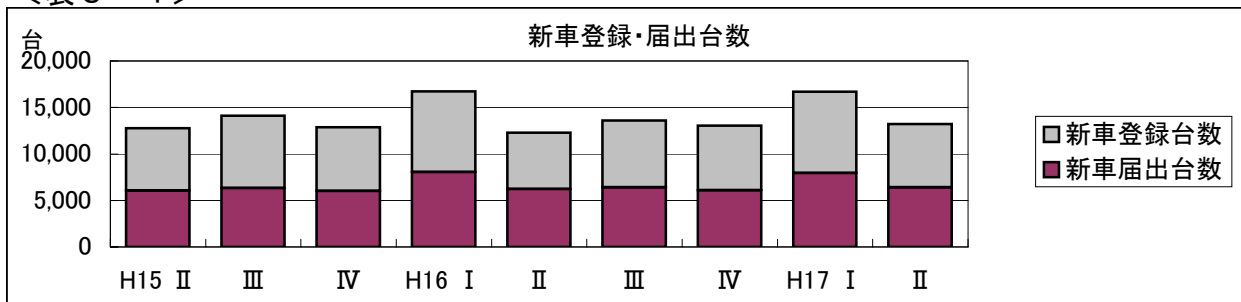
○新車登録台数は、前年同期を大きく上回った。
新車届出台数は、前年同期を上回った。

	新車登録台数		新車届出台数	
		前年同期比		前年同期比
H15 II	6,712	▲ 4.4	6,053	▲ 4.1
III	7,785	1.0	6,321	▲ 0.2
IV	6,827	▲ 10.0	6,038	0.4
H16 I	8,687	▲ 7.5	8,047	7.7
II	6,053	▲ 9.8	6,241	3.1
III	7,196	▲ 7.6	6,401	1.3
IV	6,933	1.6	6,099	1.0
H17 I	8,766	0.9	7,941	▲ 1.3
II	6,800	12.3	6,406	2.6

※ 届出自動車は、排気量660cc未満の自動車である。

（資料：日本自動車販売協会連合会宮崎県支部）

<表3-4>



(5) 航空便利用客数

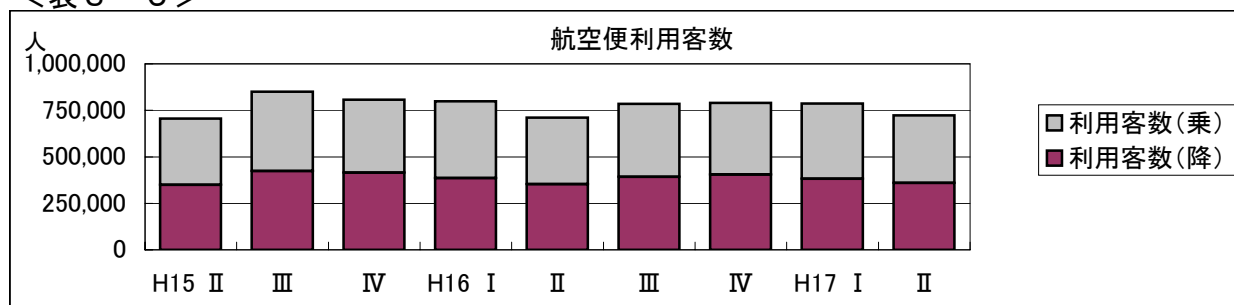
○乗客数は、4期ぶりに前年同期を上回った。
降客数は、4期ぶりに前年同期を上回った。

単位：人、%

	利用客数(乗)		利用客数(降)	
		前年同期比		前年同期比
H15 II	356,606	▲ 3.6	349,130	▲ 6.5
III	425,342	▲ 3.7	424,191	▲ 3.1
IV	392,589	▲ 4.5	414,612	▲ 4.9
H16 I	413,173	▲ 7.6	384,934	▲ 7.9
II	357,792	0.3	352,575	1.0
III	392,474	▲ 7.7	391,823	▲ 7.6
IV	384,371	▲ 2.1	405,069	▲ 2.3
H17 I	404,699	▲ 2.1	381,240	▲ 1.0
II	362,927	1.4	359,531	2.0

(資料：宮崎交通株)

<表 3-5>



(6) 主要ホテル・旅館宿泊客数

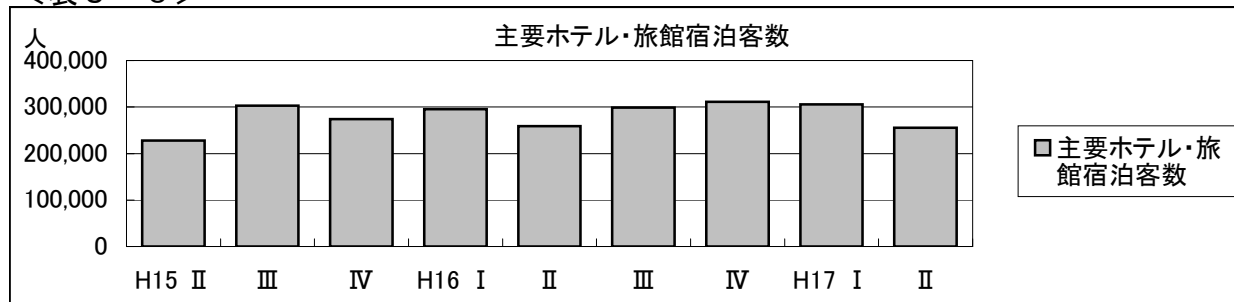
○主要ホテル・旅館宿泊客数は、前年同期を下回った。

単位：人、%

	主要ホテル・旅館宿泊客数	
		前年同期比
H15 II	227,781	▲ 8.6
III	302,756	▲ 8.5
IV	273,865	0.6
H16 I	295,512	6.4
II	258,692	13.6
III	298,544	▲ 1.4
IV	311,224	13.6
H17 I	305,479	3.4
II	255,289	▲ 1.3

(資料：県観光・リゾート課)

<表 3-6>



(7) 消費者物価指数

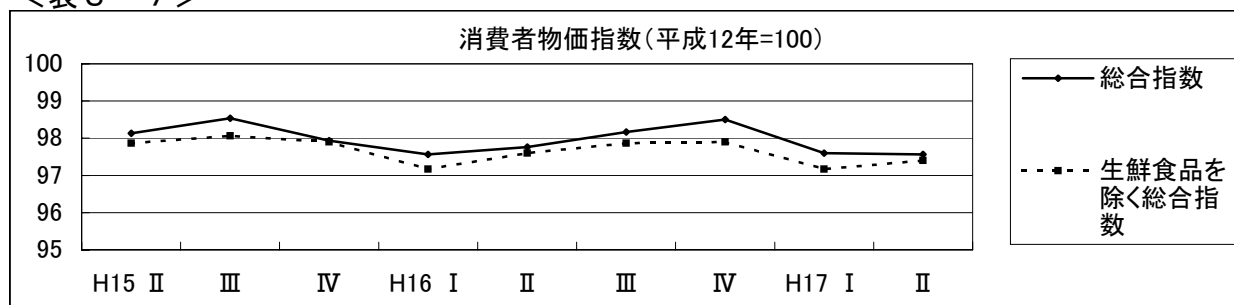
平成12年=100 単位：%

○総合指数は、前年同期を下回った。
生鮮食品を除く総合指数は、前年同期を下回った。

	総合指数		生鮮食品を除く総合指数	
		前年同期比		前年同期比
H15 II	98.1	▲ 0.2	97.9	▲ 0.5
III	98.5	0.3	98.1	0.1
IV	97.9	▲ 0.2	97.9	0.1
H16 I	97.6	▲ 0.2	97.2	▲ 0.2
II	97.8	▲ 0.4	97.6	▲ 0.3
III	98.2	▲ 0.4	97.9	▲ 0.2
IV	98.5	0.6	97.9	0.0
H17 I	97.6	0.0	97.2	0.0
II	97.6	▲ 0.2	97.4	▲ 0.2

(資料：県統計調査課)

<表3-7>



雇用・労働関連

(8) 雇用情勢

○有効求人倍率(県)は、前期とほぼ横ばいであった。
完全失業率(国)は、前期を下回った。

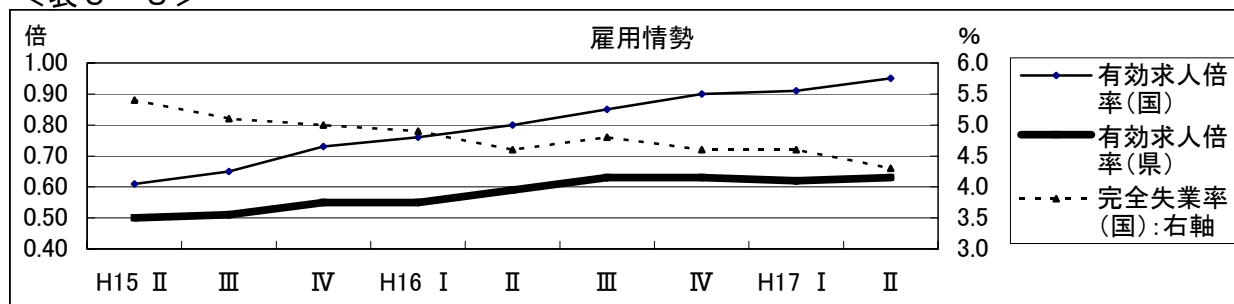
単位：倍、%、ポイント

	有効求人倍率(国)		有効求人倍率(県)		完全失業率(国)	
		前期差		前期差		前期差
H15 II	0.61	0.02	0.50	0.01	5.4	0.0
III	0.65	0.04	0.51	0.01	5.1	▲ 0.3
IV	0.73	0.08	0.55	0.04	5.0	▲ 0.1
H16 I	0.76	0.03	0.55	0.00	4.9	▲ 0.1
II	0.80	0.04	0.59	0.04	4.6	▲ 0.3
III	0.85	0.05	0.63	0.04	4.8	0.2
IV	0.90	0.05	0.63	0.00	4.6	▲ 0.2
H17 I	0.91	0.01	0.62	▲ 0.01	4.6	0.0
II	0.95	0.04	0.63	0.01	4.3	▲ 0.3

※ 数値は、季節調整値である。

(資料：総務省、宮崎労働局職業安定部)

<表3-8>



(9) 求人状況

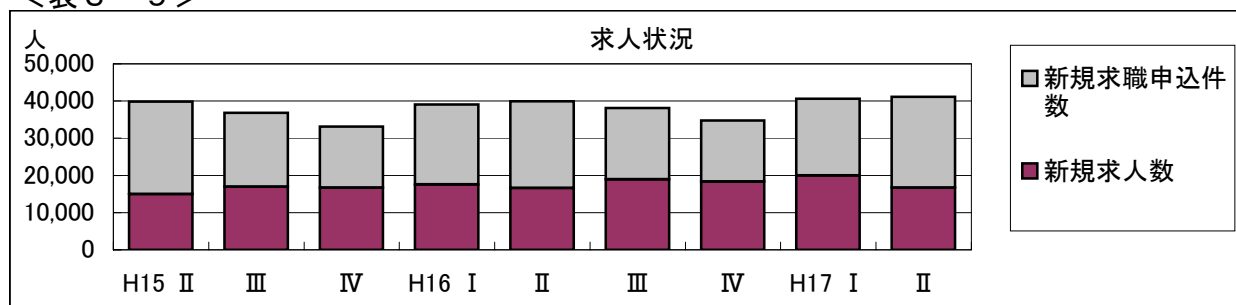
○新規求職申込件数は、5期ぶりに前年同期を上回った。
 新規求人数は、前年同期をやや上回った。

単位：件、人、%

	新規求職申込件数		新規求人数	
		前年同期比		前年同期比
H15 II	24,851	▲ 4.0	14,998	5.9
III	19,835	▲ 1.4	16,968	11.3
IV	16,459	▲ 1.7	16,709	9.0
H16 I	21,478	5.5	17,598	7.2
II	23,348	▲ 6.0	16,595	10.6
III	19,190	▲ 3.3	18,944	11.6
IV	16,445	▲ 0.1	18,312	9.6
H17 I	20,632	▲ 3.9	20,001	13.7
II	24,415	4.6	16,721	0.8

(資料：宮崎労働局職業安定部)

<表3-9>



(10) 労働関係指数 (平成12年=100)

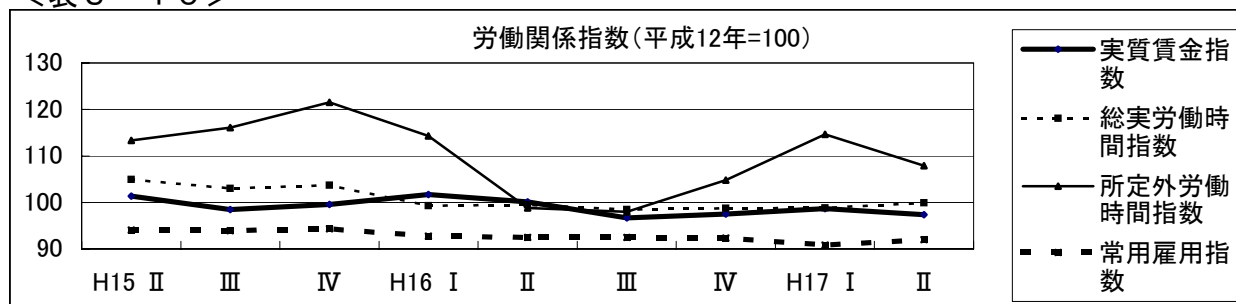
○実質賃金指数は、前年同期を下回った。
 ○総実労働時間指数は、前年同期を上回った。
 ○所定外労働時間指数は、前年同期を上回った。
 ○常用雇用指数は、前年同期を下回った。

平成12年=100 単位：%

	実質賃金指数		総実労働時間指数		所定外労働時間指数		常用雇用指数	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
H15 II	101.4	▲ 0.1	104.9	2.0	113.3	7.7	94.0	▲ 2.9
III	98.5	▲ 1.0	103.0	1.8	116.1	8.6	93.9	▲ 2.1
IV	99.6	▲ 1.5	103.7	0.3	121.5	2.7	94.4	▲ 1.2
H16 I	101.7	▲ 0.4	99.3	▲ 1.6	114.3	▲ 3.0	92.7	▲ 1.5
II	100.1	▲ 1.2	99.5	▲ 5.1	98.8	▲ 12.8	92.5	▲ 1.6
III	96.7	▲ 1.8	98.5	▲ 4.4	98.0	▲ 15.6	92.5	▲ 1.5
IV	97.5	▲ 2.1	98.7	▲ 4.8	104.8	▲ 13.8	92.3	▲ 2.2
H17 I	98.7	▲ 3.0	98.8	▲ 0.4	114.7	0.4	90.8	▲ 2.0
II	97.4	▲ 2.7	99.9	0.4	107.9	9.2	92.0	▲ 0.5

(資料：県統計調査課)

<表3-10>



投資 関 連

(11) 新設住宅着工戸数

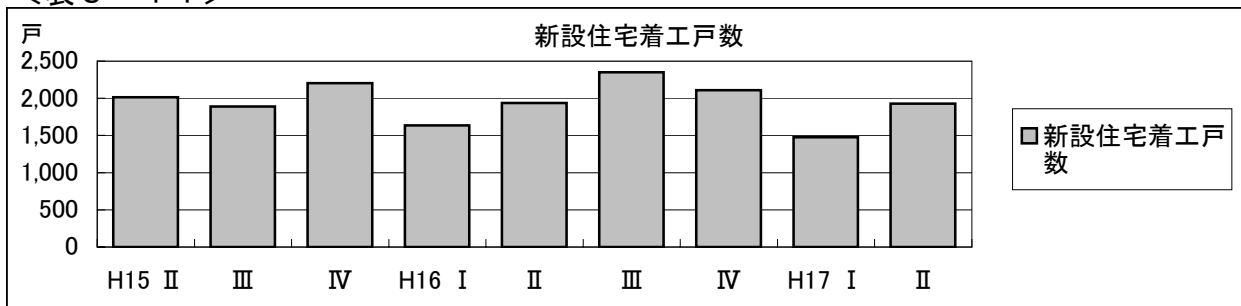
○新設住宅着工戸数は、前年同期をやや下回った。

単位：戸、%

	新設住宅着工戸数	
	前年同期比	
H15 II	2,015	18.0
III	1,891	▲ 13.8
IV	2,203	2.6
H16 I	1,635	▲ 0.2
II	1,938	▲ 3.8
III	2,350	24.3
IV	2,110	▲ 4.2
H17 I	1,478	▲ 9.6
II	1,929	▲ 0.5

(資料：県建築住宅課)

<表 3-11>



(12) 公共工事請負状況

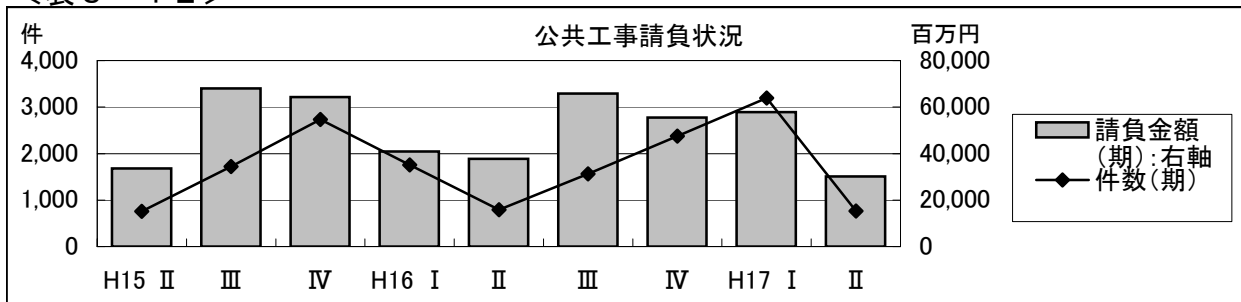
○公共工事請負件数は、前年同期を下回った。
公共工事請負金額は、前年同期を大きく下回った。

単位：件、百万円、%

	件数 (期)		件数 (年度累計)		請負金額 (期)		請負金額 (年度累計)	
	前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
H15 II	754	▲ 9.6	754	▲ 9.6	33,662	▲ 3.5	33,662	▲ 3.5
III	1,721	▲ 2.4	2,475	▲ 4.7	67,956	▲ 4.0	101,620	▲ 3.8
IV	2,733	4.9	5,208	0.1	64,313	▲ 9.3	165,934	▲ 6.0
H16 I	1,759	▲ 3.6	6,967	▲ 0.8	40,902	▲ 21.1	206,832	▲ 9.5
II	791	4.9	791	4.9	37,750	12.1	37,750	12.1
III	1,564	▲ 9.1	2,355	▲ 4.8	65,843	▲ 3.1	103,596	1.9
IV	2,372	▲ 13.2	4,727	▲ 9.2	55,559	▲ 13.6	159,157	▲ 4.1
H17 I	3,193	81.5	7,920	13.7	57,792	41.3	216,951	4.9
II	762	▲ 3.7	762	▲ 3.7	30,170	▲ 20.1	30,170	▲ 20.1

(資料：西日本建設保証(株)宮崎支店)

<表 3-12>



企業・金融関連

(13) 企業倒産状況（負債総額1千万円以上の法人及び個人企業）

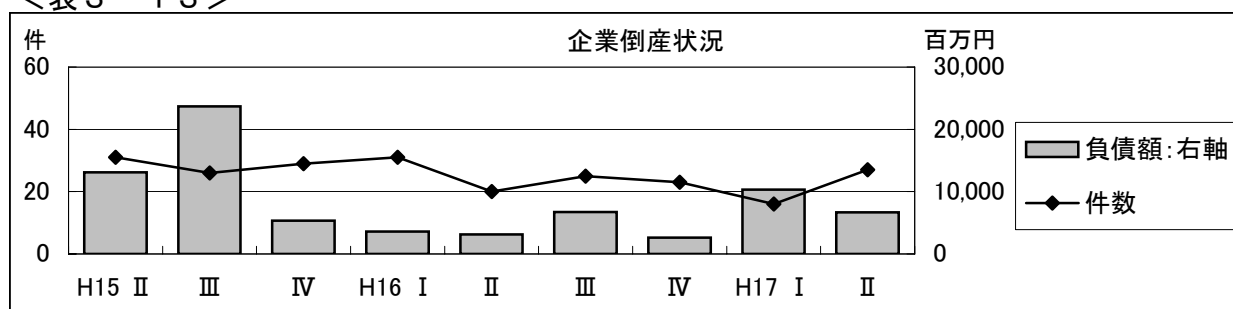
単位：件、百万円、%

○企業倒産件数は、前年同期を上回った。
負債額は、前年同期を大きく上回った。

	件数		負債額	
		前年同期比		前年同期比
H15 II	31	▲ 20.5	13,114	▲ 97.7
III	26	▲ 10.3	23,666	▲ 86.4
IV	29	0.0	5,362	▲ 98.2
H16 I	31	40.9	3,577	▲ 10.3
II	20	▲ 35.5	3,113	▲ 76.3
III	25	▲ 3.8	6,747	▲ 71.5
IV	23	▲ 20.7	2,622	▲ 51.1
H17 I	16	▲ 48.4	10,316	188.4
II	27	35.0	6,661	114.0

(資料：東京商工リサーチ)

<表3-13>



(14) 金融機関預金残高

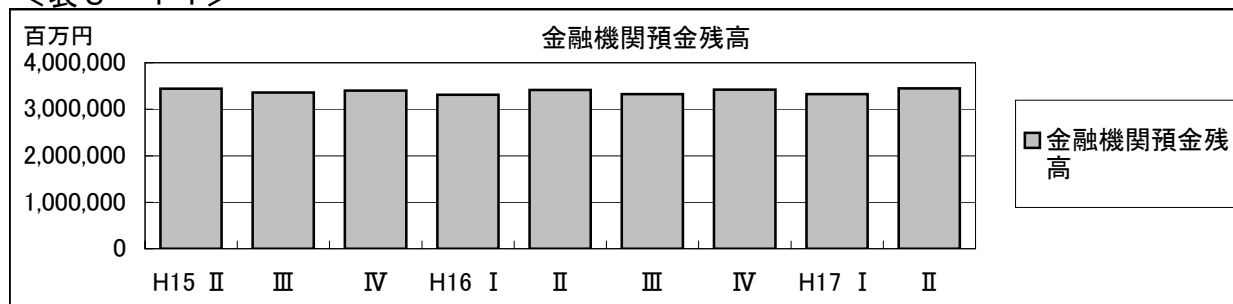
単位：百万円、%

○金融機関預金残高は、前年同期をやや上回った。

	金融機関預金残高	
		前年同期比
H15 II	3,444,327	▲ 0.7
III	3,357,157	0.3
IV	3,397,895	0.1
H16 I	3,311,614	0.9
II	3,413,884	▲ 0.9
III	3,327,328	▲ 0.9
IV	3,422,138	0.7
H17 I	3,324,192	0.4
II	3,445,819	0.9

(資料：日本銀行宮崎事務所)

<表3-14>



(15) 金融機関貸出金残高

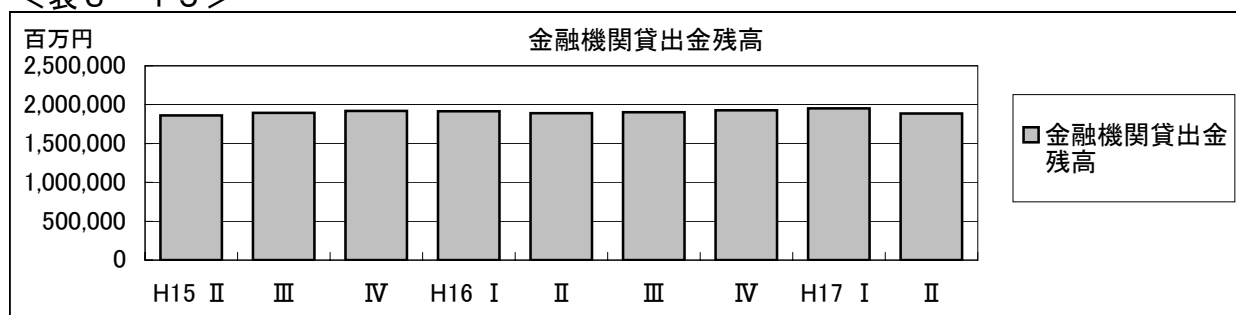
○金融機関貸出金残高は、前年同期とほぼ横ばいであった。

単位：百万円、%

	金融機関貸出金残高	
		前年同期比
H15 II	1,861,731	▲ 1.3
III	1,893,087	0.4
IV	1,918,781	0.0
H16 I	1,916,942	▲ 0.2
II	1,891,975	1.6
III	1,902,245	0.5
IV	1,926,770	0.4
H17 I	1,950,598	1.8
II	1,885,795	▲ 0.3

(資料：日本銀行宮崎事務所)

<表3-15>



(16) 景気動向指数

○先行指数は、4月～6月に50.0%を下回った。
一致指数は、4月、6月に50.0%を上回った。
遅行指数は、4月、5月に50.0%を上回った。

	先行指数	一致指数	遅行指数
H16 6月	85.7	50.0	100.0
7月	57.1	50.0	60.0
8月	85.7	33.3	50.0
9月	57.1	58.3	20.0
10月	57.1	16.7	60.0
11月	28.6	66.7	60.0
12月	42.9	41.7	80.0
H17 1月	57.1	66.7	60.0
2月	42.9	58.3	40.0
3月	57.1	58.3	80.0
4月	28.6	66.7	70.0
5月	28.6	33.3	60.0
6月	42.9	66.7	20.0

(資料：県統計調査課)

